

# とやっ子

相模原市立鳥屋小学校  
学校だより  
第2号 23年6月1日  
題字 宮崎 緑

## あいさつは、人と人をつなぐ魔法の言葉

校長 吉原 美世子

今年は早々と梅雨入り宣言がありました。校庭では水木の白い花が美しく、深緑が雨に映えています。先日は、3・4年生の交通安全教室がありました。PTA役員の方々をはじめ、地域安全課の方や交通安全協会の方、駐在所の澁谷さんに大変お世話になりました。子ども達は真剣な面持ちで自転車に乗り、信号を確認したり、走り方を教えていただいたりしていました。

また、28日(土)には、PTA主催の「みんなで集う会」が開かれ、楽しいひとときを過ごすことができました。役員の方々には、前日から準備をしていただきました。ありがとうございました。

さて、毎朝子ども達の登校を黄色い旗を持って迎えています。道路の反対側から「おはようございます」明るく元気な声で、挨拶してくれる子ども達があります。とても嬉しくなって、一日のエネルギーをもらった気がします。「おはようございます」と声を掛けると、元気に応える子、照れくさそうに会釈する子、下をむいて黙って行ってしまう子。「朝ご飯をいっぱい食べて元気だな!」「おや、今朝はお家でしかられたのかな?」などと想像をめぐらすことができます。

先日、青少年相談員の中村さんがいらして、畑仕事をしながら「お帰り」と声を掛けると「ただいま」と返事が返ってくる。もうご自分のお子さんは大きくなられて小中学生はいないのだが、地域の子も達だと思い声を掛けている。こちら元気をもらっていると話されていました。挨拶は、人と人を結ぶ大事なコミュニケーション手段(魔法の言葉)だと思います。「おはようございます」「ありがとう」と声を掛けられていやな気持ちになる人はいません。「挨拶は心をつなぐオアシスさ!」とも言います。

- ・おはようございます
- ・ありがとう
- ・しつれいします
- ・すみません
- ・さようなら・・・



※オアシス：砂漠の中の緑地帯の意味から、心やすらぐところ。

他にも挨拶の言葉はたくさんあります。まずは、声にだして挨拶するところから人の輪が広がり、潤いのある人間関係が育まれると思います。新学習指導要領では「確かな学力の向上」と「豊かな人間性の育成」が重点として掲げられています。子ども達にとって、国語や算数などの勉強はとても大事ですが、人と人のコミュニケーション能力を養うこともとても大切です。

ご家庭でも、朝は明るい笑顔で「いってらっしゃい、がんばってね!」と送り出してあげてください。きっと学校でも、明るく元気で楽しい一日を過ごせることと思います。

## ☆大地震想定避難訓練 5月24日(火) 3校時

東北関東地方に大きな被害を出すとともに、今も多くの方々が避難所等で生活している状況が続いている「東日本大震災」から2ヶ月半が過ぎようとしています。

そんな中本校では、震度6弱のゆれを想定した「避難訓練」を実施しました。当日は、あいにくの雨模様でしたが、テラスを通過して体育館へ避難しました。

子どもたちには、3月11日の「東日本大震災」の記憶も残っており、真剣な顔つきと態度で避難できました。

避難訓練の後には、反省とともに、各担任から、「登校や下校の時に大きな地震が起きたらどのように行動したらよいのか」の指導を受けました。



内容は次のようなものです。万が一大きな地震が発生した場合には、地域の皆様のご協力やご支援をいただく可能性も十分ありますので、よろしくお願いいたします。

### ★登下校時に大きな地震が来た場合の対応★

- ① 安全な場所ならば、その場所を動かない。歩道などにいた場合は、畑・公園・空き地などに避難する。
- ② 大人が来るまでその場所を動かない。(保護者・教師・安全ボランティア・近所の人など)
- ③ ブロック塀・自動販売機・「がけ」など、倒れたり倒壊の恐れのあるものには、近づかない。

### ★ 避難訓練の反省の中で、子どもたちから出された感想です。

- ・福島や茨城の人は、本当にゆれていなくても、ゆれているように感じてしまうくらい、恐い思いをしたことがよくわかりました。
- ・ちゃんと先生の話をよく聞かないとだめだということや、大地震でたくさんの方が亡くなったり、行方不明になっていることがわかりました。
- ・先生がいない時に地震がきたら、机の下にもぐって、大きかったら校庭に避難する。静かに避難訓練のことを思い出して避難する。
- ・もし地震が起きたら大人の言うことをきく。もどってはいけないとすごく思いました。
- ・「おかしも」の約束を守ることが安全につながるということがよくわかりました。
  
- ・今日の訓練では、通れない道があったので、ほんとうに地震がきたらこうなるということがよくわかりました。

## ☆3・4年生 交通安全教室 5月26日(木) 5・6校時

曇りの天気でしたが、自転車の乗り方を中心とした交通安全教室を3年ぶりに校庭で行うことができました。当日は、相模原市地域安全課の方3名・交通安全協会鳥屋支部の方4名・駐在所の・谷さんのご指導ご協力をいただくとともに、たくさんのボランティアの方のご協力で、自転車の安全な乗り方についての、実技とお話をきくことができました。

交通標識などについてのお話の中では、標識の意味についてわかりやすく説明していただくとともに、実際に自転車を使って坂道での安全なブレーキのかけ方の実技も見せてもらいました。子どもたちは、坂道でのブレーキのかけ方を食い入るように見つめていました。

後半の実技では、実際の道路と同じように信号機や歩道、障害となるトラックがおかれたコースを、指導員さんたちの指導を受けながら、一人が2回ずつ走行して練習をしました。

今回の交通安全教室が、日常の子どもたちの安全意識の向上や事故防止につながってくれることを、心から願っています。

ご協力をいただきました皆様、ほんとうにありがとうございました。



5月20日(金) 安心安全パトロールがおこなわれました。

春の交通安全運動期間の最終日、校門付近で「あいさつ」とともに、交通安全についての呼びかけなども行いました。子どもたちは、元気よくあいさつをしていました。



5月末から6月初めにかけては、校外にでかける大きな行事が連続します。

3年市内巡り 5年宿泊体験学習 1・2年遠足(鎌倉 江ノ島) 6年日光修学旅行などです。

子どもたちは、はりきって準備をしています。くわしくは、次号でお知らせいたします。

## 4年生 校外学習 「大沢入」(でいしゃり)

5月17日(火)4年生は、理科の水生物の観察で、「大沢入」の川にでかけました。

草も伸び、へび等心配だったのですが、前日に地域の小島久男さんが草をきれいに苺ってください、安全に学習を進めることができました。ありがとうございました。



新緑が目にもまぶしいさわやかな季節となりました。今月は、避難訓練など安全に関わる行事がたくさんありました。「備えあれば憂いなし」と言う言葉がありますが、日頃からの活動・心がけ・学級での指導がとても大切なことを強く感じます。特に今年3月11日の「東日本大震災」の記憶が子どもたちに強く残っており、昨年以上に真剣で臨場感にあふれた訓練ができました。

この訓練が現実のものにならないことを願っているのですが、万が一の場合の対応についても、ご家庭や地域の皆様のご協力を得ながら、進めておくことが大切なことを感じます。今号の記事の中にもありますが、よろしく願っています。

次回6月号では、毎朝お世話になっている、安全ボランティアさんや、図書ボランティアさんの活動などについても、お知らせしたいと思います。雨の季節を迎え、子どもたちの登下校も気になると思いますが、見守り等ご協力をお願いいたします。

教頭 岸

実

## 6月の行事予定

- 2・3日 5年宿泊体験やませみ
- 3日 教育カウンセラー
- 6日 委員会 英語活動  
心肺蘇生法講習会
- 7日 1・2年 遠足
- 8・9日 6年日光修学旅行
- 8日 開校記念日(138回)
- 10日 教育カウンセラー
- 13日 プール開き 英語活動
- 15日 5年音楽鑑賞会
- 17日 教育カウンセラー
- 20日 英語活動
- 23日 学校保健委員会  
お話たまたまばこ
- 24日 教育カウンセラー
- 27日 英語活動
- 28日 **学年PTA(全学年)**

★学年PTAは、全学年いっしょの日になりました。